

## 平成26年度 漁村振興事業第1回選考委員会開催結果

1. 開催日時 平成26年11月27日(木)11:30
2. 開催場所 札幌市中央区北3条西7丁目  
第1水産ビル8階道漁連第2応接室
3. 出席者 評議員長 平野正男  
評議員 渋谷良二(北海道森林組合連合会専務理事)  
山中千恵美(北海道水産会常務理事)  
上田克之(水産北海道協会社長)  
長澤俊一(事務局長)  
事務局員 今田柳子

### 3. 協議事項

- ・議案第1号 平成26年度漁村振興事業の第1次選考について  
公募資料に基づき選考した結果、次の通り決定した。  
なお、金額修正(実績1件、計画1件)、追加申請(実績2件)について事後承認あり。  
修正箇所は2)健康促進について実績金額(1件)、計画金額(1件)  
追加2件は2)健康促進について実績金額(2件)

助成金総額	90件	6,922,816円	(実績承認 68件 4,499,544円)
			(計画承認 22件 2,423,272円)

※計画承認は11/25現在実績未払い件数を含む)

1) 環境改善	40件	2,806,014円	(実績承認 30件 1,454,014円)
			(計画承認 10件 1,352,000円)
2) 健康促進	21件	1,021,058円	(実績承認 17件 838,058円)
			(計画承認 4件 183,000円)
3) その他	29件	3,095,744円	(実績承認 21件 2,207,472円)
			(計画承認 8件 888,272円)

#### ・その他

実績承認へ迫って交付決定通知の送付。給付は12月中に実施。

計画承認へ迫って承認通知を送付。給付はH27.3月予定(第2回選考委員会終了後)  
26年度交付予算をほぼ満たしたことから第2次募集は行わないこととする。

(文書通知は特になし。電話等の問い合わせに対し説明対応。)

第2回選考委員会(H27.3月予定)で、第1次承認の給付結果を報告予定。

また、新たな実績申請があれば協議する。

#### <選考内容特記事項>

1) 他からの公的助成がある事業は、収入に対する自己負担比率で給付申請額を計算。

(事例) 町おこし事業 ※自己負担比率の範囲～準公的団体(漁協、農協、森林組合等)

- 2) 従来と同様計画の中で収入（助成金・負担金）が減額となった部分への充当申請は不可。  
（事例）水質調査
- 3) 従来 of 事業計画に、新たに追加事業が発生したものの申請は可。
- 4) 事業参加者へのお土産代は申請不可。  
（事例）料理教室や出前授業参加者へ海産物や加工品のお土産等
- 5) 共催事業の申請はそれぞれの団体申請が可能だが、道水産会助成金との重複申請が無いよう、申請団体担当へ周知、確認が必須。  
（事例）女性部・青年部等の共催による、お魚料理教室・出前授業
- 6) 漁協組合長杯パークゴルフ大会の参加賞費用（鮭代）申請は、地元の魚食普及・健康促進事業のと判断できるので対応とする ⇒次年度に向け申請項目追加の提案
- 7) 農産直売市（札幌）での水産物の普及（チラシ、レシピ等）にかかる旅費申請は、都市部での漁村・漁業授業や料理教室等に準じて対応する ⇒次年度に向け申請項目追加の提案
- 8) 地元食育・魚食普及等教材費等申請：事業下限2万円に満たない対応2件について
  - ・歯舞漁協 サマの燻製作り 単価上限¥19,000、実費額¥17,496  
⇒他のタイトル別食育事業申請3件があり平均経費が2万円を超えるので可とする。
  - ・沙留漁協女性部 料理教室 単価上限¥15,000、実費額¥13,206  
⇒別途料理教室計画と合算し2万円を超えるので可とする。
- 9) 次年度公募要領へ下記改善事項を提案する。
  - ①事業趣旨の徹底：募集要領への記載
  - ②応募期間一部変更：第1次募集の11月末まで決定・通知を11月末まで決定とする
  - ③申請項目追加：参加者記念品代 ～参加者1名につき300円、10万円を限度  
(都市部での漁村・漁業授業や料理教室、料理コンテスト)
  - ④申請項目追加：参加者配布試供品代～参加者1名につき300円、10万円を限度  
(地元での食育・魚食普及等行事)